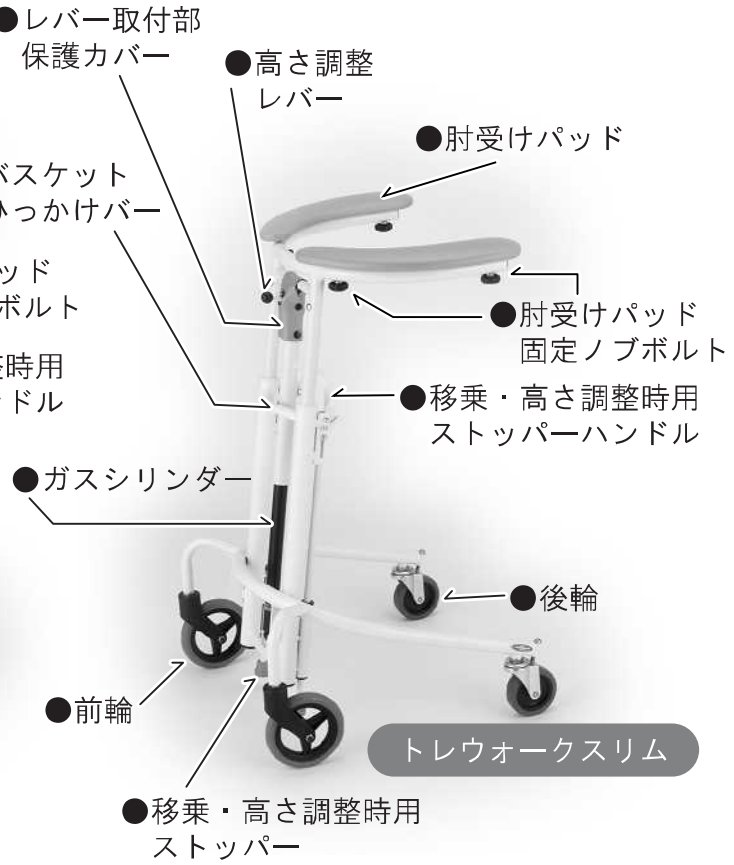
トレウォーク
トレウォークスリム

取扱説明書

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。製品を安全、快適にご使用いただくための大切な内容が記載されております。ご使用前に必ずお読みください。
なお、保証書も掲載致しておりますので、大切に保管してください。

目次はP10に掲載しております。

各部の名称



仕様・サイズ

トレウォーク

●材質：スチール製　●前輪／100mm回旋式　●後輪／100mm固定式
●全幅：650mm　●全長：640mm　●全高：調整式　840～1140mm
●肘受内側寸法：350～410mm（W）×430mm（D）　●重量：約13.2kg
●耐荷重：75kg

トレウォークスリム

●材質：スチール製　●前輪／150mm回旋式　●後輪／100mm固定・回旋切替式
●全幅：550mm　●全長：590mm　●全高：調整式　850～1050mm
●肘受内側寸法：340～360mm（W）×330mm（D）　●重量：12.1kg
●耐荷重：75kg

※上記はオプション類未装着時のスペックです。

注意・警告

●各部のガタつきやネジのゆるみ、車輪のすりへり、その他の不具合により、思わぬ事故につながることがあります。定期的に取扱い業者のチェックを受け、不具合がないか確かめてください。
●使用者の体調が著しく低下しているときは、充分に注意して使用してください。
●からだに合わない状態での使用はしないでください。
●本製品（オプション含む）は必ず、医師や医学療法士または専門知識を持った販売店の指導に基づいてご使用ください。
●各部の調整・調節を行うときは、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。
●ストッパーをかけたままでの歩行は絶対にしないでください。転倒する危険があります。
●歩行車を壁や家具、物等にぶつけると、壁や家具、物等が損傷する可能性がありますので注意してください。
●歩行の際、ストッパーと床面の間に足を挟まないように注意してください。
●走行時には床面に凹凸や障害物がないか充分に注意してください。走行中にストッパーや各部に凹凸や障害物が引っかかると、転倒や製品の破損の恐れがあります。
●片側の肘受けパッドのみに荷重をかけないでください。側方に転倒するおそれがあります。
●段差や坂、傾斜面では特に注意して操作してください。バランスをくずして転倒することがあります。
●周辺に小さなお子様がいるときは、指や手足を挟むなどして、ケガをするおそれがありますので充分に注意して使用してください。
●製品をゆすったり、踏んだりなどの乱暴な取扱い、落としたり、たたいたりなど強い力や衝撃を与えないでください。製品が破損する事があります。
●水にぬれた場合、そのままにしておくと製品に錆びやカビが出ることがあります。ぬれた場合は乾いた布ですみやかに拭き取ってください。水中での使用は絶対にしないで下さい。
●気温の差の激しい場所や異常に高温な場所(車中など)に製品を放置しないでください。フレームが傷むばかりでなく、熱くなったフレームで火傷をしたり、高温になったシートに触れることで体調に悪影響を与えることがあります。
●エスカレーターの出入り口付近、エレベーター、自動ドア等の付近で使用する際は注意してください。
●トレウォーク・トレウォークスリムは室内用です。屋外での使用は絶対にしないでください。
●握りハンドルやフレームなどに手荷物等を掛けないでください。荷物等が各部に当たり誤動作をしたり、バランスをくずして転倒する恐れがあります。
●持ち運びの際は、メインフレーム以外を持たないでください。（肘受けパッド、ストッパー、ハンドル等を持って運ぶと製品の破損につながる恐れがあります。）
●坂、傾斜面での駐車はしないでください。やむを得ず駐車する場合は２輪以上に車止めをしてください。
●トレウォークスリムで、後輪の両輪ともが回旋式の状態では歩行車が左右に大きく動きます。後輪の固定式・回旋式のセッティングについては、使用者の状態や使用環境を考慮し、専門の医師や医学療法士または専門知識を持った販売店にご相談ください。使用者ご自身のみで判断しないでください。
●トレウォークスリムの後輪を固定してあるボルトのつけはずしは専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。絶対に自分ではつけはずし作業ををしないでください。
●トレウォークスリムは屋内の段差乗越えを考慮して、大径（150mm）の前輪を使用していますが、使用時の姿勢によっては段差を乗越えられない場合があります。使用する前に、必ず医師や医学療法士または専門知識を持った販売店の指導を受けてください。
●使用者・介助者とも、歩行車使用時には靴をはいてください。はだしで歩行車の使用や介助をすると、思わぬケガをするおそれがあります。
●歩行車以外の使用はしないでください。踏台や脚立のかわりに使用しないでください。
●子供に操作をさせないでください。
●二人以上での同時の使用はしないでください。
●フレームの折れ、曲がり、シート類の破損など壊れた状態での使用はしないでください。（使用を中止し、すみやかに販売店へ修理、部品交換をご依頼ください。）
●改造や分解はしないでください。
●フレームに足を乗せたり、フレームや肘受けパッドに腰掛けたりしないでください。
●高さ調整レバーのノブ玉やレバー取付部保護カバーをはずして使用しないでください。
●当取扱説明書内に記載の寸法や重量の値には、製造の都合上、多少の誤差がありますのでご了承ください。
●製品の改良・改善により、詳細において本書の内容と異なる場合があります。不明な事柄につきましては、販売店までお問合せください。

移乗・高さ調整時用ストッパーのつかいかた

ストッパーのかけかた

ストッパーハンドルを手で握り、ハンドルがロックされるまでしっかりと下ろします。

ストッパーがおりて地面にあたります。
ストッパーハンドルから手をはなしても、ストッパーが上にもどらないことを確認してください。

⚠ 手や腕を、フレームやガスシリンダーに当てたり、こすったりしないように注意してください。

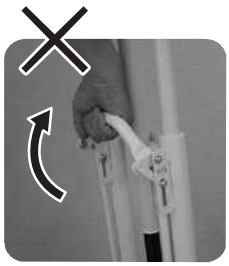
解除のしかた

ストッパーハンドルを手で上にもどすと、駐車状態が解除されます。

⚠ 手や腕を、フレームやガスシリンダーに当てたり、こすったりしないように注意してください。

⚠ 注意 警告 **（ケガをするおそれがあります）**

●ストッパーハンドルを上下する際、左写真の矢印部分に手や指を入れないように注意してください。（裂傷や骨折の危険があります。）



●ストッパーを解除する際は、ストッパーハンドルを手のひらが上になるように握ってください。手のひらが下になる状態（左写真）で解除をすると、手がフレームにあたり、ケガをするおそれがあります。

●ストッパーの下に足を入れないように注意してください。

⚠ 注意 警告

・ストッパーは、あくまで歩行器への移乗、歩行器からの移乗、歩行器の高さ調整等を補助するためのものです。一般のブレーキとは用途が異なりますので、歩行中の減速・停止ブレーキの目的では使用しないでください。（転倒する危険があります。）
・ストッパーをかけていても、強い力が加わると歩行器は簡単に動いたり、倒れたりしてしまいますので、十分注意してください。

高さの調整のしかた

●高さの調整はストッパーをかけて行ってください。
（ストッパーのかけかたはＰ３をご覧ください。）

レバー先端のノブ玉を上に上げると調整ができます。

高さ調整レバーの先端の黒いノブ玉を指先で上に上げると、肘受けパッドの高さが調整できます。

肘受けに体重をかけると、肘受けが下がります。
肘受けに体重をかけないと、肘受けが上がります。

高さ調整レバーから指をはなすと、肘受けの高さが固定されます。

注意 警告 高さ調整時には、転倒しないよう十分ご注意ください。

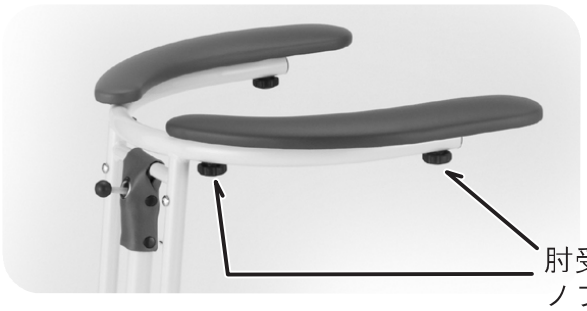
禁止 歩行しながらの高さ調整はしないでください。
転倒する危険があります。

安全な移乗のための注意

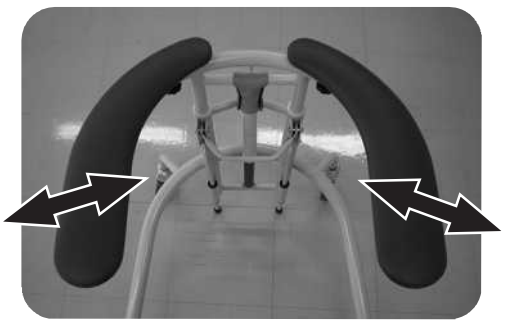
注意 警告

・歩行器への移乗、歩行器からの移乗、をする際は、肘受けパッドの高さを最も低い位置に調整してください。
・肘受けパッドの高さ調整は必ず、ストッパーをかけた状態で行ってください。

肘受けパッド位置の調整のしかた



肘受けパッド固定ノブボルト



肘受けパッド固定用ノブボルトを緩めると、肘受けパッドをずらして位置を調整することができます。

位置調整後は、全てのノブボルトをしっかりと締めて肘受けパッドを固定してください。

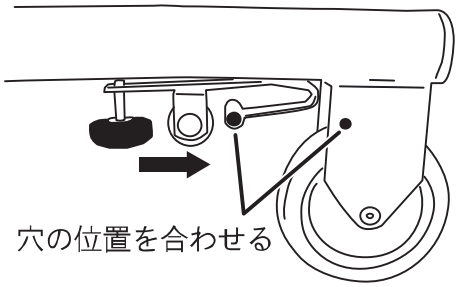
注意 警告 使用時には、肘受けパッド固定ボルトが緩んでいないかご確認ください。
緩んでいる場合は、しっか締めて、肘受けパッドを固定してください。

禁止 歩行しながら肘受けパッド位置調整をしないでください。
歩行車に体重をあずけた状態で、肘受けパッド位置調整をしないでください。

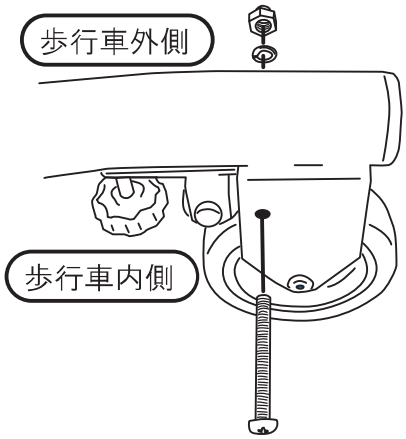
抵抗器（トレウォーク用オプション）の取付けかた

抵抗器の取付けにつきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談ください。

●抵抗器を取付ける場合は、必ず歩行器の左右両方の後輪に抵抗器をつけてください。



①抵抗器を、後輪の上の隙間に、車いす前方側方向から差込みます。
抵抗器の穴と、後輪を取付けているプレートの穴の位置を合わせます。



②抵抗器に付属のボルトを穴に通して、付属のスプリングワッシャとナットでしっかりと取付けます。
スプリングワッシャとナットが歩行車の外側になるように取付けます。
（使用工具：プラスドライバー３番・スパナ10ミリ）

禁止　片方の後輪だけに抵抗器を取付けることはしないでください。

後輪の抵抗の調整のしかた（抵抗器はトレウォーク用オプション）

●抵抗の調整はストッパーをかけて、駐車状態で行ってください。
（ストッパーのかけかたはＰ３をご覧ください。）

後輪の抵抗器（オプション）の黒いノブボルトをまわすことで、後輪にかかる抵抗の強さを調整できます。

禁止　歩行器の使用者が歩行器に体重をあずけている状態で、抵抗の調整をしないでください。

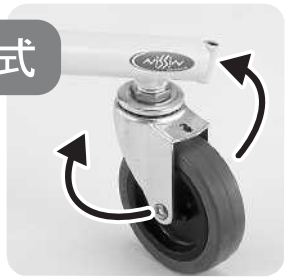
後輪の固定式⇔回旋式の変更のしかた（トレウォークスリムのみ）

注意
警告

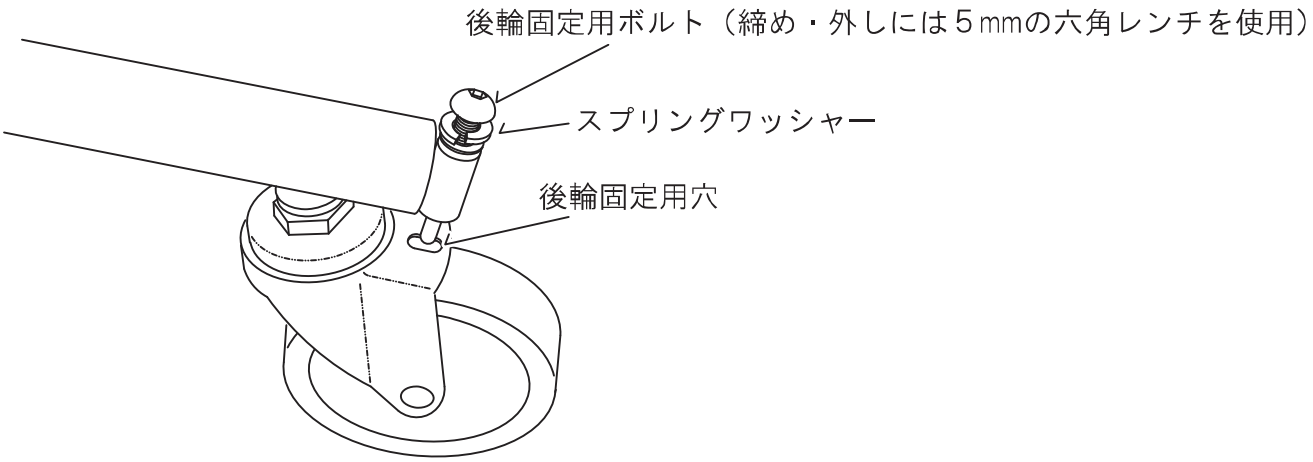
●後輪は歩行の状態や屋内での使用環境により、「両輪固定」・「片輪固定」・「両輪回旋」の設定が選べますが、ご自身で判断せずに、必ず、専門の医師や医学療法士または専門知識を持った販売店にご相談ください。
●後輪の固定式⇔回旋式の変更作業は専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

固定式

回旋式



後輪の固定式⇔回旋式の変更のしかた



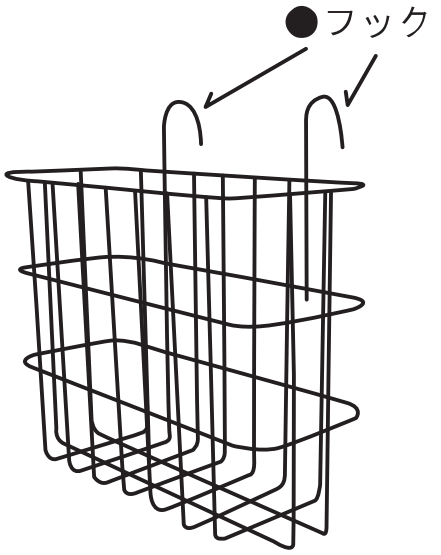
●後輪固定用ボルトが締めこまれ、ボルトの先端が後輪固定用穴に入り、キャスタが旋回しない状態にすると、固定式となります。

●後輪固定用ボルトとスプリングワッシャーを取り外すと、回旋式となります。　外したボルトとスプリングワッシャーは大切に保管してください。

注意
警告

・後輪固定式で使用の場合、後輪固定用ボルトがしっかり締めこまれ、スプリングワッシャーが効いていることを確認してください。
・後輪回旋式で使用の場合、後輪固定用ボルトとスプリングワッシャーは確実に取り外してください。（後輪固定用ボルトとスプリングワッシャーをつけたまま使用しないでください）。

バスケット（オプション）の使いかた



バスケットの２箇所のフックを、トレウォークのバスケットひっかけバーにかけて、バスケットを取付けます。

注意警告

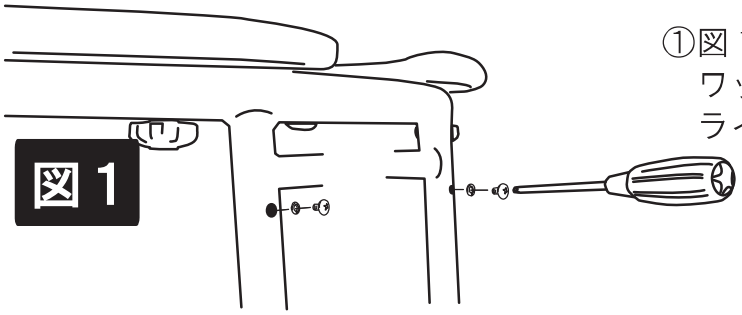
- ●バスケットのフックを体にさしたり、ひっかけたりしないよう、十分にご注意ください。
- ●バスケットの中に、濡れたものを入れないで下さい。水滴等が床面に落ち、スリップや転倒につながるおそれがあります。濡れたタオル等を入れる時は、よく水分を絞ってください。
- ●バスケットから落下する可能性のある、小さな物等を、バスケットにいれないでください。落下物が体にあたり、ケガをするおそれがあります。
- ●バスケットの一部が切れたりした場合は、使用を中止してください。バスケットの切断面でケガをするおそれがあります。

禁止

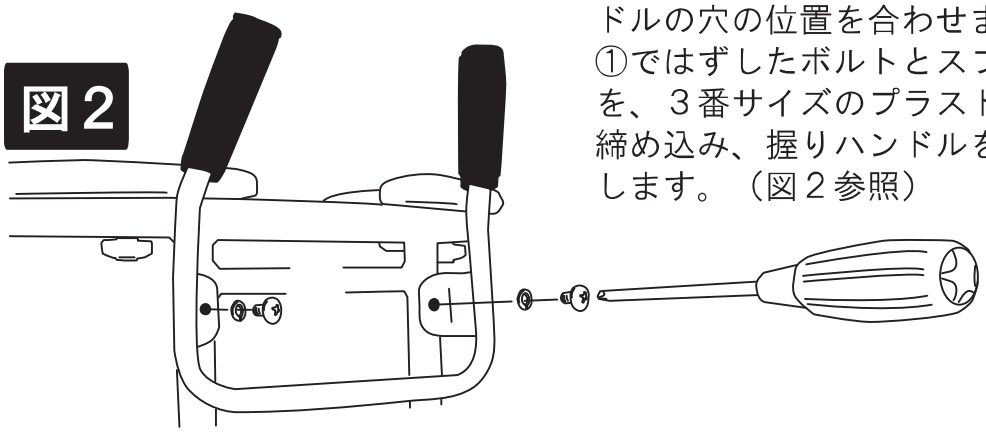
バスケットひっかけバー以外の場所に、バスケットをかけないでください。

握りハンドル（オプション）の取付けかた

握りハンドルの取付けにつきましては、専門知識と技術を持った販売店にご相談ください。

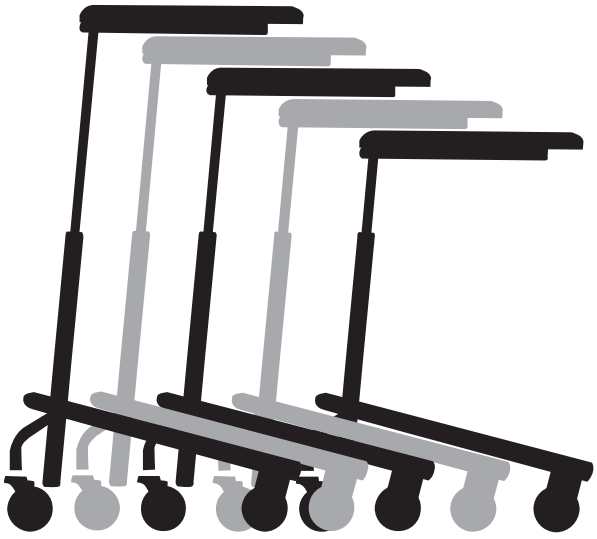


①図１の２箇所のボルト・スプリングワッシャを、３番サイズのプラスドライバー使ってはずします。



②ボルトを外したフレームの穴と、握りハンドルの穴の位置を合わせます。
①ではずしたボルトとスプリングワッシャを、３番サイズのプラスドライバー使って締め込み、握りハンドルをしっかりと固定します。（図２参照）

スタッキング収納について（トレウォークのみ）



●高さを調整することで、約1,300mmの奥行に、５台のトレウォークを収納することができます。
（オプション装着仕様の場合を除きます。）

※収納時にはストッパーをかけてください。
※坂面や傾斜面に収納しないでください。
※トレウォークスリムのスタッキング収納はできません。

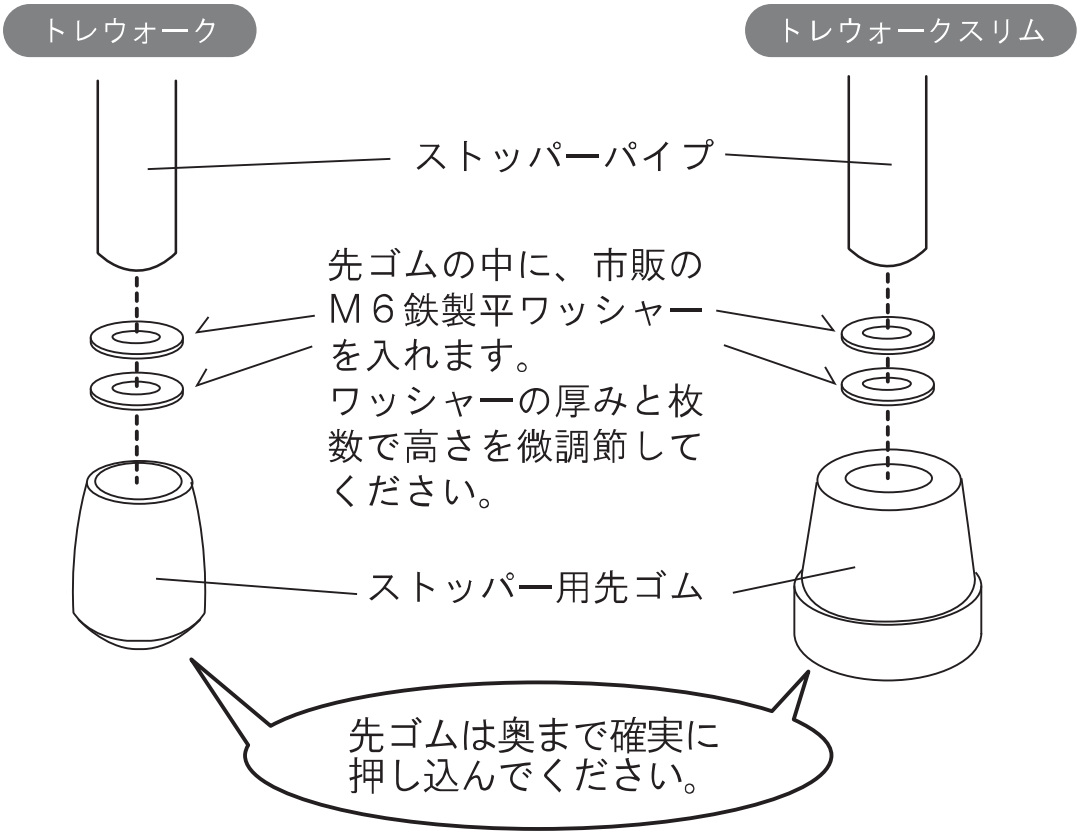
ストッパーの先ゴム交換時の注意（販売店向け情報）

ストッパーの先ゴムの交換につきましては、専門知識と技術を持った販売店にご依頼ください。

ストッパーをかけたときに、
①左右のストッパーと左右の後輪が確実に接地している。
②左右の前輪が床面に接地せずに浮いている。
以上の２点が守られていることが必要です。

その為には、先ゴム交換時に左右の先ゴムの高さの微調節する必要があります。

先ゴム高さの微調節方法



先ゴムを取り付けたあとは
①左右のストッパーと左右の後輪が確実に接地している。
②左右の前輪が床面に接地せずに浮いている。
以上の２点が守られていることを必ず確認してください。

左右のストッパーの高さを適切に調節するためにも、先ゴムは片側だけでなく、左右両方を同時に交換することをおすすめいたします。

使用前点検（必ず行ってください）

●移乗・高さ調整時用ストッパーがしっかり効くかどうかご確認ください。
●ネジ・ボルト・ノブボルトのゆるみがないか、フレームのガタつきがひどくないかご確認ください。
●肘受けパッドのシートに亀裂や破れがないかご確認ください。
●車輪のガタ・緩み・曲がり等がないかご確認ください。
●前輪・後輪及び車輪取付けフォークに変形、ひび割れ等がないかご確認ください。
●前輪・後輪が緩んでいないか、抜け落ちていないかご確認ください。
●各部パーツの変形、破損がないかご確認ください。
●高さ調整レバーのノブ玉がはずれていないかご確認ください。
●レバー取付部カバーがはずれたり、破れたり、ホックがはずれていたりしていないかご確認ください。
●前輪・後輪に髪の毛やほこり、ゴミなどが巻き込まれていないか確認してください。巻き込まれている場合は取り除いてください。（そのまま使用すると車輪の回転や回旋に不具合が生じ、転倒等の事故につながる危険があります。）
●移乗・高さ調整時用ストッパーの先ゴムには、本体パイプの床面接触を防ぐためにスチールのワッシャーが入っています。使用の状況により、先ゴムが擦れ、ワッシャーで床を傷つける場合がありますので、先ゴム底面の溝が磨り減ったり、ゴムが硬化してきたら、速やかに、販売店に先ゴムの交換を依頼してください。
●ガスシリンダー部にオイルが垂れていないか確認してください。オイルが垂れている場合は使用を中止してください。

警告 製品に異常がある場合は使用を中止し、すみやかに販売店に修理・部品交換・調整をご依頼ください。

目次

P　1　・・・　各部の名称
　　仕様・サイズ
P　2　・・・　注意・警告
P　3　・・・　移乗・高さ調整時用ストッパーのつかいかた
P　4　・・・　高さの調整のしかた
　　安全な移乗のための注意
　　肘受けパッド位置の調整のしかた
P　5　・・・　抵抗器（トレウォーク用オプション）の取付けかた
　　後輪の抵抗器の調整のしかた（抵抗器はトレウォーク用オプション）
P　6　・・・　後輪の固定式⇔回旋式の変更のしかた（トレウォークスリムのみ）
P　7　・・・　バスケット（オプション）の使いかた
P　8　・・・　握りハンドル（オプション）の取付けかた
　　スタッキング収納について（トレウォークのみ）
P　9　・・・　ストッパーの先ゴム交換時の注意（販売店向け情報）
P１０　・・・　使用前点検（必ず行ってください）
　　目次
P１１　・・・　保証規定・品質保証書

保証規定

Ⅰ．　保証の範囲

1．保証期間中に品質の不完全に基づく故障を生じた場合には下記の保証書により無料で修理いたします。
2．保証期間はお買い上げ後１年間です。
3．但し、次の場合は保証期間中でも有料になります。
　（ａ）取扱い過誤による故障。
　（ｂ）製品に改造を加えた場合の故障。※純正品以外の部品を使用した場合も含みます。
　（ｃ）天災、地変等による故障ならびに損傷。
　（ｄ）消耗部品、車輪など。
　（ｅ）保証書にお買い上げ店名の記載、捺印のない場合。
　（ｆ）保証書のご提示がない場合。
4．以上の保証は本製品を日本国内に設置した場合に限ります。
5．この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

Ⅱ．　サービスのご用命

保証期間中、万一故障が生じた場合はお買い上げの販売店へ保証書を添えてお申し出ください。

Ⅲ．　ご注意

保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

品 質 保 証 書

本商品については上面記載の「保証規定」により正常な使用状態において故障が生じた場合に限りお買い上げ日より「１年間」無償にて修理致します。

機　種		
お客さま	ご住所	〒
	（フリガナ） ご氏名	TEL
お買上げ日		日　保　証　日まで
販 売 店		㊞
総販売元		

見本

日進医療器株式会社
〒481-8681　愛知県北名古屋市沖村権現３５－２
ＴＥＬ　〈0568〉21-0635（代）　　ＦＡＸ　〈0568〉23-2787

日進医療器株式会社

本　　社　〒481-8681　愛知県北名古屋市沖村権現３５番地の２
ＴＥＬ＜0568＞21-0635(代)　ＦＡＸ＜0568＞23-2787

東京営業所　〒112-0002　東京都文京区小石川　１－２１－１４
ＴＥＬ＜03＞3814-0923(代)　ＦＡＸ＜03＞3814-4644

大阪営業所　〒533-0013　大阪府大阪市東淀川区豊里　６－１６－１０
ＴＥＬ＜06＞6323-8265(代)　ＦＡＸ＜06＞6326-2554

九州営業所　〒812-0876　福岡県福岡市博多区昭南町2丁目3-8つるまる堂ビル1F
ＴＥＬ＜092＞513-5036(代)　ＦＡＸ＜092＞513-5038

東陽事業部　〒452-0901　愛知県清須市阿原北野１３番地
ＴＥＬ＜052＞401-2741(代)　ＦＡＸ＜052＞401-2751